

境港長期構検討想委員会 第2回委員会【討議部分要旨】

日時：令和元年7月23日（火）13:00～15:00

場所：境港商工会議所 3階会議室

（敬称略）

■討議

（島根大学 渡邊委員）

- ・ 内容に関してはわかりやすく整理されている。
- ・ 国際経済を専門としている。個人的な関心でもあるが、グローバル・バリュー・チェーンの中で（境港が）どのような役割を果たしていくのか関心がある。
- ・ 日本の主たる貿易相手は中国から東南アジアにシフトしつつある。北東アジアを掲げているが、現在のチップやヤシ殻の輸入元となる東南アジアとの関係が、今後ますます重要になっていくのではないかと。

（境水先区水先人会 森脇委員）

- ・ 内容は上手にまとめてあり、問題ない。
- ・ 入出港に関しては、船の流れが一方通行となるのは、好ましくない。将来的には改善してほしい。改善すれば、泊地が狭くとも大型船の入出港ができる。

（隠岐汽船 木下委員）

- ・ 境港は多様な機能を有する都市である。内航地区の中で船を運航し、旅客を運んでいるが、今後、竹内地区がどうなっていくか、港の賑わいがどのようになっていか、期待をもって見ている。

（まるか商事 上田委員）

- ・ 内容に関しては、方向性がまとまってきた印象を受けた。
- ・ 境港は水産業のまちとして興り、そこから工業のまちへ発展してきた。昔は、境港駅周辺でも潮の匂いがした。昨今は工業の匂いになってきたのが寂しいところもあるが、変わりゆく境港を楽しみにしている。

（鳥取県漁業協同組合 景山委員）

- ・ 旅客船（の増加）や船舶大型化の話があるが、いろいろな利用者がある中で、漁船と競合している面がある。最も重要なのは航行安全である。今後、漁業者とどのように調整するのか。
- ・ 陸域だけでなく、航路の安全性や水質等の環境問題への対応についても、関係者としっかり協議をして、内容を盛り込んでほしい。

（日本クルーズ&フェリー学会 池田委員）

- ・ 国際フェリーや内航 RORO 船については、ターミナル整備が順調に進んでおり問題ない。
- ・ 物流関連は積極的に整備されるようで良いと思うが、クルーズ対応の記載が不足しているように感じた。
- ・ 先日、クルーズ活性化会議に参加したが、非常に熱気があった。上位関連計画にもクルーズ関連施策が盛り込まれている。今後、中国のクルーズ人口は現在の 240 万人から 1,000 万人に増加、国内のクルーズも増加が見込まれている。
- ・ 個人的には、中国人よりも日本人の方が境港の観光的価値がわかるのではないかと考えており、国内クルーズも確実に増加するとみている。
- ・ 令和 2 年に貨客船ターミナルが供用開始となるが、国際フェリーとクルーズが共存できるのか、両者が満足できる施設となるのか。
- ・ クルーズの対応が十分にできるのか、その辺りはもう少し計画に盛り込んでいくべきではないか。長期利用のゾーニングについても、もう少しクルーズを前面に打ち出すようにした方がいい。

(NPO 元気みなと・みなとまちづくりマイスター 山田委員)

- ・ 境港の海岸通りで 60 年育ったが、子供の頃を想うと、ここまで変わるとは思っていなかった。かつての市街地はドーナツ化現象ですっぽり抜け、郊外の方が人口は増加している。
- ・ クルーズ客も増加する中、水木しげるロードからの散策からの流れで、海岸通りにくつろげるような場所があると良い。イメージとしては、東屋を長屋風につなげたようなものがあるとよいと思う。

(境港管理組合 岡田係長、永田次長)

- ・ グローバルチェーンについて、大きな貨物としては、廃プラ・鉄スクラップの輸出があり、日本全体からみた輸出の動向や、その中での境港の役割など、長期構想の中に盛り込んでいきたい。
- ・ 航路については長期的な展望となるが、将来的には埋立を含め、航路を増やすことも頭に入れながら、事業展開を考えている。
- ・ 新しい貨客船ターミナルが完成すると、航路の一番奥に位置することになり、使い勝手が悪いという意見もある。港の形状については、すぐに対応できることではないが、それらも含めて長期構想の中で考えていきたい。
- ・ 陸域だけでなく、海の環境や漁場など海とのつながりも考慮する。また、埋立地については長期構想に親水性なども盛り込み、港湾計画策定に取り組んでいきたい。
- ・ クルーズ関連については、第 3 回委員会までに、クルーズ先の訪問先など記載が不足している点にも対応する。

(境港リサイクルポート推進協議会 門脇委員)

- ・ 資料の内容は問題ないが、実現にあたっての具体的な対応が大事だと考える。
- ・ 水際を Port として考えるか、Bay として考えるかいろいろな考え方があり。人流・賑わいについては、境港 Bay という考え方で発展させていくことも考えられる。

(境港海陸運送 西村委員代理 (門脇))

- ・ 第 1 回委員会の要望が盛り込まれているが、さらなる業務の拡大と船社誘致のためにも、ガントリークレーンの早期増設をお願いしたい。
- ・ ドライバー不足解消への対応策の一つとして、渋滞解消のための道路アクセスの早期整備を要望する。

(DBS クルーズフェリー 李委員)

- ・ DBS フェリークルーズは航路開設 10 周年となった。この 10 年間で境港は十分に変わった。
- ・ 今後も、人流・物流が良い環境になることを期待している。

(鳥根県合板協同組合 又賀委員)

- ・ 木材の取り扱いについては、境港は指定港なので恵まれている。水先人の不足にも対応してもらえることも素晴らしい。
- ・ 環境面では（事業活動の中で）公害を出さないように取り組んでいる。鳥根県が推進する国産材廃材を活用したバイオマス発電を行っている。これから新設される大規模なバイオマス発電所は、海外から輸入した材料を燃やすだけであり、(我々とは) バイオマス発電の方針が異なる。
- ・ バイオマス発電の燃料については、どこで荷揚げをするのか。大きなスペースや屋根も必要となる。境港も物流面の対応をしっかりとしてほしい。
- ・ 人手不足は大きな問題である。人手がなければ、物流はうまく機能しない。人の問題も長期構想にいれてほしい。水先や環境面への配慮を含めてお願いする。

(NPO 元気みなと 佐名木委員)

- ・ 人流・賑わいの視点について、ゾーニング図上で海岸通りが交流拠点ゾーンに位置付けられているが、こういった点への対応も期待している。
- ・ 海岸通りは歴史的にも境港を代表するエリアである。境港の歴史の本には「西洋人が東洋のバルセロナと称した」という記述もある。

- ・新たな整備も大事だが、元からあるものを活かし、市民や観光客に対し、歴史・文化を伝えるゾーンとして磨き上げてほしい。計画の中にそういったところも組み入れてほしい。

(環日本海経済活動促進協議会 足立委員代理 (青木))

- ・多様な課題がきれいに整理されている。
- ・企業からみると、境港は他港と比較して物流コストが高い。ソフト面の課題も併せて盛り込んでほしい。

(漁業協同組合 しまね美保関支所 松本委員)

- ・島根側についても、将来的に計画が実現したときに、操業の安全が確保されるようにしてほしい。

(境港市観光協会 榎田委員)

- ・現在、日本の観光インバウンドは歴史的にみても未曾有の状況。観光客は年間3千万人を突破し、オリンピックの入込も含めた予測では4千万人を超える見込み。
- ・境港もその恩恵を受けている。タイミングに遅れないよう対応すべき。

(日本政策投資銀行 廣田委員)

- ・港湾においても人手不足は深刻な問題。IoTやAIの活用はそれほど難しいことではない。そういうツールを活用して解決することを念頭においてほしい。
- ・このエリアには米子空港もある。空港との連携、まちとの連携なども必要と考える。

(境港管理組合 岡田係長)

- ・港湾機能を十分に発揮するには、道路整備が必要であると認識している。
- ・人手不足については、IoTやAIの活用と共に担い手の育成も重要であり、両方に取り組むことが大事である。今後の議論の視点に入れていく。
- ・漁業関係者との意見交換が不足しているので、第3回委員会に向けて意見聴取を進めていきたい。

(境港市 清水委員)

- ・米子境港間の高速道路整備は、単なる国道431号の渋滞解消などでなく、物流・産業を支える道路として必要であり、中国地方で高規格道路の整備が進んでいる中、境港は、重要港湾でありながら高速道路までの距離が縮まっていない点を、もっと強調すべき。

(境海上保安部 佐名委員代理 (佐々木))

- ・操船者にしわ寄せや来る計画となることなく、操船が安全にできるよう、航路・泊地を含めて将来の船舶の大型化を十分に検討し、岸壁能力を超過する船舶の入港がないよう安全な港となるよう検討いただきたい。

(鳥取県県土整備部 草野委員)

- ・先日、浜田港を初めて見たが、港から高速道路に直結する臨港道路が整備され、ガントリークレーンも新設されるなど、施設が充実していた。これから計画を実現していくにあたっては、スピード感をもって対応していく必要がある。

(国土交通省港湾局計画課 平井審査官)

- ・長期構想の検討においては、多くの関係者が集まり、意見も集まる。多くの顔を持つ港を核として、地域でこのように取り組んでいきたいというアイデアを出し合うのが長期構想と考えている。
- ・今後、港湾計画改訂の作業があるが、長期構想は港湾計画策定のためだけでなく、地元の活動や事業活動の一助となる一面もある。
- ・次回は、長期構想の素案が出てくると思うが、関係者と協力し、花開くような形で新しい絵を描いてほしいと思う。

(須野原委員長)

- 今日にはゾーニングまでということで、荒いかたちで考え方を提示した。次回に向け事務局で作業を進める中で、改めて意見を聞くが、協力をお願いしたい。
- 港はこの地の最大のインフラであり、まちづくり、地域づくりに大きなインパクトがある。本日の検討を踏まえ、是非、忌憚なき意見をお願いしたい。

以上